

児相と区親の約束違反放置

台東4歳死亡 都の検証部会報告

東京都台東区の夫婦が2023年に次女の細谷美輝ちゃん(当時4)に有害な化学物質エチレングリコール(不凍液)を飲ませて殺害したとされる事件で、都は都児童相談センター(児相)などの対応を検証した報告書を公表した。美輝ちゃんは両親から虐待を受けており、児相など支援機関の連携不足や、家庭訪問の約束が実行されなかったことなどが判明。専門家は「約束違反をそのままにしたのは問題。児相がすぐに再び保護すべきだった」と指摘する。(奥野斐)

■一時保護

都によると、夫婦が他県から区内に転入した16年、夫婦げんかによる心理的虐待の情報を受け、児相と台東区子ども家庭支援センターが家庭の相談援助に関与。精神的に不安定な母親に対しては、美輝ちゃんの出産前から支援が必要な「特定妊婦」として見守った。

美輝ちゃんが生後2カ月の19年3月、母親が自宅で衣服に放火。心理的虐待に

美輝ちゃんは一時保護解除後に認可外保育施設に入

あたるとして、児相がきょうだい3人を一時保護し

■連携不足

その後、父母は拒否。電話連絡にしか応じなくなつた。結果的に、児相も区も父母に状況を直接確認しなかった。



保育所で過ごす細谷美輝ちゃん(近隣住民提供(一部画像処理))

園。以降、認可保育所を含め計6施設に預けられた。亡くなる4カ月ほど前の22年11月には「右ほほに青たん、左目脇に黄色いあざ、左ほほに引っかき傷」、23年1月には「眠ったまま起こそうとしてもなかなか起きない」など、けがなどの報告が保育所から区に相次いだ。

年月	経過
2016年10月11日	細谷美輝ちゃんの父と母、長男、長女が区に転入。夫婦げんかによる心理的虐待の情報を受け、区が家庭訪問
18年12月	都児童相談センター(児相)が母親を「特定妊婦」として支援対象に
19年1月	美輝ちゃん誕生。翌月から児相が養育状況を確認
3月	母親が衣類に放火。児相が子ども3人を一時保護
7月	長男、長女の一時保護を解除
9月	美輝ちゃんの一時保護を解除。認可外保育施設に入園
21年1月	児相の指導が解除。区などの見守り体制に。その後、父母が家庭訪問を拒否するように
22年9~11月	保育所が区に美輝ちゃんのけがを繰り返し報告
23年1月	保育所が区に「起こそうとしても起きない」と報告
3月	美輝ちゃんが自宅から救急搬送され死亡
24年2月	警視庁が殺人容疑で父母を逮捕

東京都台東区の子児死亡の経過

小児科医や弁護士らでつくる検証部会がまとめた報告書は、児相が家庭の状況に変化があったことを認識しながら、父母に直接確かめなかったことを問題視。

■再発防止

「状況に変化があったことを認識しながら、父母に直接確かめなかったことを問題視。」

一時保護の解除条件 家庭訪問 踏み込まず

改善策として「状況に変化があったと報告を受けた際は児相が積極的にリスクの有無を判断する」など踏み込んだ対応を求めた。区の子ども家庭支援センターについては、家庭訪問を断られても児相に援助要請をしなかったほか、けがや生活状況について各保育施設との情報共有も不十分だったとした。子どもへのヒアリングや家庭訪問などで状況を直接確認し、再評価すべきだと指摘した。

保険金詐取容疑 夫婦6回目逮捕

親族連続死

東京都台東区の夫婦が親族4人に有害な化学物質エチレングリコール(不凍液)を飲ませて殺害したとされる事件で、うち1人の死亡保険金をだまし取ったとして、警視庁捜査1課は12日、詐欺の疑いで、元ホテル運営会社社長の細谷健一(44)と妻志保(38)の両容疑者を再逮捕した。逮捕は6回目。

再逮捕容疑は2022年3月、共謀して、健一容疑者の父勇さん(当時73)を殺害したことを隠して死亡保険金の請求書を保険会社に提出し、約460万円をだまし取ったとされる。認否を明らかにしていない。

今年1月には別の保険会社にこの3人が病死したとする虚偽の請求書を提出し、保険金計約2500万円をだまし取ったとする詐欺容疑で逮捕された。